

新KUGSルーブリック

共通観点2,3,4,5. 「大学での学び」の観点は1a,2,3,4,5

「高校での学び」の観点は1b,2,3,4,5

観点番号	観点(大学)	観点(高校)	KUGSスタンダード	C	B	A	A ⁺	A ⁺⁺
1a	他者を理解する		1. 人とつながる・共生する	個別プログラムの趣旨や要点に関する記述がなく、自分の感想や意見である。または、個別プログラムの内容の理解に致命的な誤りがある。	個別プログラムの趣旨や要点の把握が不十分だったり、理解に一部誤りがあったり、記述に感想や意見が混ざったりするものの、個別プログラムの内容について書かれている。	個別プログラムの主旨や要点は概ね理解し、整った形でまとめている。	個別プログラムの主旨や要点を適切に理解し、全体として過不足なく明瞭で論理的にまとめている。	個別プログラムの主旨や要点を、背景や意図にも目を向けて、構造も踏まえて理解し、わかりやすく的確にまとめている。
1b		自己を知る	2. 自己を探究する・超越する	成長についての記述がない。または、記述はあるものの、課題や取り組み内容と完全に重複しているか、取り組み内容と異なる活動をもとに成長を振り返っている。	具体性に欠けたり、列挙にとどまったり、取り組みとの結びつきが不明瞭であったり、取り組みの感想が混ざったりするものの、自分の成長について書いている。	取り組みとのつながりが明確な少数の事柄に絞って、自分の成長を記述し、分析しようとしている。	取り組みに表れた自分の強みや改善点を複数把握しつつ、少数の事柄に絞って自分の成長を具体的に記述し、分析している。	取り組みに表れた自分の強みや改善点を総合的に分析した上で、とくに重要な自分の成長に焦点を当てて具体的に記述し分析している。
2	明確で重要な課題(問題)を設定する		3. 今を知る・未来を考える 4. 新たな価値を創造する	課題が設定されていなかったり、漠然としている。または、その課題を解決する重要性を書いていない。	複数であったり、曖昧であったり、一般的であったりするものの、課題は設定されており、その課題を解決する重要性を説明しようとしている。	明瞭に一つの課題を設定し、その課題を解決する重要性を説明している。	現状を踏まえて課題を明瞭に一つ設定し、その課題を解決する重要性や社会的な意義を説明している。	現状を分析し、未来につながる知識を活用した課題を明瞭に一つ設定し、その課題を解決する重要性と社会的な意義を説明している。
3	課題解決に向けて具体的に考え工夫する		1. 人とつながる・共生する 3. 今を知る・未来を考える	取り組み(解決策)の記述が具体的にでなかったり、努力や工夫が見られない。また、取り組み(解決策)が受動的であったり、排他的であったり、根拠がない。	単発で一般的な努力や、工夫が少ない取り組み(解決策)であったり、具体的な記述が不十分だったりするものの、取り組み(解決策)を書いており、その取り組み(解決策)を選ぶ根拠を示そうとしている。	継続して自ら取り組んだ努力や、工夫した取り組み(解決策)を具体的に書いており、その選択理由も根拠を示して説明している。	継続して自ら取り組んだ努力や、独自の工夫がある取り組み(解決策)を、具体的かつ分析的に書いており、その有効性や実現の見込みについても根拠をあげて説明している。	継続して自ら取り組んだ努力や、独自の工夫がある取り組み(解決策)を、具体的かつ複数の視点から分析して説得的に書いている。また、その有効性や実現性についても、複数の論拠を比べた上で、より適切な根拠を示して説明している。
4	未来を見据える		3. 今を知る・未来を考える 4. 新たな価値を創造する	大学で学ぶことについて考えられておらず、今後の取り組みが書かれていなかったり、抱負、志望動機、感想、まとめのみである。または、記述はあるが、どの分野にもあてはまる一般論であったり、それまでの記述内容とのつながりがない。	大学で学ぶことについての考察は浅く、具体性に欠けたり列挙にとどまるかもしれないが、今後取り組みたいことが書かれている。その内容は、一読では分かりづらくても全体を読めばつながりが推測できる。	それまでの記述と関連づけながら、自分の将来像をイメージし、大学で何を学び何に取り組むかを示していたり、今後の取り組みについて具体的に記述している。	それまでの記述と関連づけながら、社会課題や研究課題を踏まえて自分の将来像をイメージし、大学で何を学び何に取り組むかを示し、今後の取り組みについて具体的に記述している。	それまでの記述と関連づけ発展させながら、自分の将来像と現在の姿を踏まえて、大学で何を何のために学び何に取り組むかを示していたり、社会課題や研究課題を踏まえて、挑戦的かつ実現可能性のある計画を立て、目的や方法についても具体的に記述している。
5	コミュニケーションのために分かりやすく表現する		2. 自己を探究する・超越する 4. 新たな価値を創造する	<ul style="list-style-type: none"> レポート記述の指定事項のいずれかがないか、著しくバランスが悪い 課題と解決策の大半が対応していない 主題から外れた記述が多く、論理展開に致命的な矛盾がある 文法の誤りが散見されたり、字下げや改行等の書式が守られておらず、文章が読みにくい 略語の説明不足や語句の誤用、会話調の文体や敬語、飾り立てた表現等が多く、内容が読み取りにくい 題名から内容を推測できない 	<ul style="list-style-type: none"> 全体のバランスは不十分だが、レポート記述の指定事項に沿って内容段落を構成している 課題と対応しない記述が含まれるが、関連する取り組み(解決策)が書かれている 主題から外れた記述が一部に見られたり、文章のつながりや論理展開に分かりにくいところはあるが、致命的な矛盾はない 文法の誤りが部分的にあったり、書式が完全ではなかったりするが、読むのに支障はない 題名から本文の内容が推測できる 	<ul style="list-style-type: none"> レポート記述の指定事項を満たし、段落構成やバランスが整っている 課題に対応する取り組み(解決策)が書かれている 論理的一貫性にやや欠けるかもしれないが、主題に合った内容でまとまっている 文法に誤りがほとんどなく、書式がほぼ正しく守られている 本文の内容を端的に表す題名をつけている 	<ul style="list-style-type: none"> レポート記述の指定事項をすべて十分満たし、段落構成やバランスが整っている 課題を分析した結果に基づいて、対応する取り組み(解決策)を筋道立てて示している 主題に合った内容でまとまっており、論理的な一貫性がある 文法に誤りがなく、書式が正しく守られている 	<ul style="list-style-type: none"> レポート記述の指定事項すべてに充実した内容があり、段落構成やバランスが整っている 課題を複数の視点から分析した上で、対応する取り組み(解決策)を分かりやすく示している 主題に合った内容が的確にまとめられ、独自の視点や分析を含みつつ、論理的に整理されていて一読で理解できる 文法も書式も正しく適切に整えられている

レベルCの例示

共通観点
2,3,4,5.

「大学での学び」の観点は1a,2,3,4,5

「高校での学び」の観点は1b,2,3,4,5

観点番号	観点(大学)	観点(高校)	KUGSスタンダード	C	Cの例示
1a	他者を理解する		1. 人とつながる・共生する	個別プログラムの趣旨や要点に関する記述がなく、自分の感想や意見である。または、個別プログラム内容の理解に致命的な誤りがある。	【大】 ・見出しや項目を並べただけである ・個別プログラムで提示された専門用語の説明をしているだけである ・自分の感想や意見のみである
1b		自己を知る	2. 自己を探究する・超越する	成長についての記述がない。または、記述はあるものの、課題や取り組み内容と完全に重複しているか、取り組み内容と異なる活動をもとに成長を振り返っている。	【高】 ・感想のような記述しかなく、どのように成長したかわからない（「達成感を得られた」「努力したことは私の財産となった」等） ・「成長した」と書かれていても具体的な変化がわからない（コミュニケーション能力不足という課題に対して、自分から積極的に話すことに取り組み、「コミュニケーション能力が身についた」と振り返る、等） ・学んだ内容や取り組み内容をそのまま成長として述べている（「コミュニケーションの重要性を学んだ」等） ・実験を中心とする取り組みを紹介しながら、プレゼンテーションに関する成長を書いている
2	明確で重要な課題(問題)を設定する		3. 今を知る・未来を考える 4. 新たな価値を創造する	課題が設定されていなかったり、漠然としている。または、その課題を解決する重要性を書いていない。	【大】 ・個別プログラムで提示された課題とまったく同じである ・個別プログラムの趣旨や内容に則していない課題である ・受講以前からの関心に基づいており、個別プログラムとの関連がわからない課題である 【高】 ・高校生が一般的に抱える悩みである（「勉強が苦手」「志望がわからない」等） ・抽象的な問題である（「自分が何をすべきか」「地域社会が抱える問題の解決」等） ・課題を設定できていなかったり、重要性が説明できていない（「…に興味があるので…を調べた」等）
3	課題解決に向けて具体的に考え工夫する		1. 人とつながる・共生する 3. 今を知る・未来を考える	取り組み(解決策)の記述が具体的にでなかったり、努力や工夫が見られない。また、取り組み(解決策)が受動的であったり、排他的であったり、根拠がない。	【大】 ・個別プログラムで提示された課題と解決策をそのまま述べている ・個別プログラムの内容に対する感想や意見で、課題と解決策が書かれていない ・アイデアや方向性のみで、仕組みや内容や論拠を説明していない（「SNSで発信する」「罰則を強化する」「教育の仕組みが必要である」「個人の意識を高める」等） ・調べたことの紹介のみである 【高】 ・目に見える具体的な行動が紹介されていない（「コミュニケーションを取った」「勉強した」「オープンキャンパスの参加」等） ・取り組みについて、課題の内容に関わらない表面的な記述にとどまる（「部活動で生じた問題に対して、話し合いの場を設けた。すると問題は解決した」等、話し合いの内容や形式に関する特徴や工夫点がわからない） ・他者の意見に従っただけの取り組みである（「大学の先生に聞いてその通り実験した」等） ・取り組みが列挙されており、何を解決するために何をしたのかわからない
4	未来を見据える		3. 今を知る・未来を考える 4. 新たな価値を創造する	大学で学ぶことについて考えられておらず、今後の取り組みが書かれていなかったり、抱負、志望動機、感想、まとめのみである。または、記述はあるが、どの分野にもあてはまる一般論であったり、それまでの記述内容とのつながりがない。	【大・高】 ・どの分野にも広く当てはまり、具体的な内容や例示がない（「コミュニケーションを頑張りたい」「様々なことに積極的に取り組みたい」「深く学びたい」「世の中のために働きたい」等） ・目的のわからない留学やボランティア活動等をあげている ・授業科目名の列挙や、学類紹介等を切り貼りしたのみである ・残りの高校生活で取り組みたいことのみである
5	コミュニケーションのために分かりやすく表現する		2. 自己を探究する・超越する 4. 新たな価値を創造する	・レポート記述の指定事項のいずれかがないか、著しくバランスが悪い ・課題と解決策の大半が対応していない ・主題から外れた記述が多く、論理展開に致命的な矛盾がある ・文法の誤りが散見されたり、字下げや改行等の書式が守られておらず、文章が読みにくい ・略語の説明不足や語句の誤用、会話調の文体や敬語、飾り立てた表現等が多く、内容が読み取りにくい ・題名から内容を推測できない	【大・高】 ・課題と解決策が対応していない（「世界的な食糧不足」を課題としながら、「子ども食堂への参加」を取り組みとして述べる等） ・文法の誤りの例：主語と述語の非対応/主語の省略/接続詞の誤用/修飾関係の誤り（修飾語の掛かり方が不自然）/読点のない長文/ら抜き言葉/ ・書式の例：字下げ/改行/空行/箇条書き（「取り組みは以下の3点である。①・・・ ②・・・ ③・・・」） ・飾り立てた表現の例：倒置表現「この地球を、守らなければならない、私たちが」/婉曲表現・遠回しな自己主張「地球温暖化は深刻な問題ではなからうか」/体言止め「小さな努力の積み重ねで生まれる大きな変化。これこそが私たちに残された唯一の希望」/書き手と読み手の社会的立場・関係性を反映して言葉を選ぶ「貴学で学びたい」 ・題名がエッセイ風やスローガンである：（「美しい未来」「小さな一歩が大きな成長へ」等）